

「山形県広域防災拠点設置検討委員会」の設置について

背 景

- 近年、全国的に地震や大雨など、災害が激甚化・頻発化しており、本県においても災害対応力の強化が求められている。
 - 大規模災害発生時、県内における応急対策活動や、県外への広域応援を円滑に実施するための拠点となる広域防災拠点が必要である。
 - 東日本大震災の応急対策において、山形空港が被災地支援の拠点として稼働した実績等を踏まえ、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の広域大規模地震への備えとして、山形空港及びその周辺への広域防災拠点の設置を山形県地域防災計画に位置づけた。
- 県内における大規模災害発生時には、あらかじめ指定した候補施設の中から適切な施設を選定し、広域防災拠点を設置する。



東日本大震災時の
救援ヘリ活動拠点（山形空港）

検討委員会の設置

『山形空港及びその周辺に設置する山形県広域防災拠点』について、必要な機能を整理するとともに、具体的な整備方針案を策定するため、防災関係の有識者や関係機関の代表者で構成される「山形県広域防災拠点設置検討委員会」を設置し、検討を行う。

主な検討内容

- 本県の広域防災拠点の現状及び課題整理、広域防災拠点の先行事例を参考に役割と機能を再整理
- 新設・既存施設活用等の検討、新設する場合の必要な施設の規模、合理的な配置案、費用やスケジュール等の検討
- 効果的・効率的な事業手法の検討 等

第 1 回会議の進め方

山形空港及びその周辺に設置する広域防災拠点に必要な役割と機能、整備の方向性等について、自由に意見を交換します。 1